

# 令和元年度事業評価 課別評価シート

## 【資源環境部 リサイクル清掃課】

### 目 次

- |                  |      |
|------------------|------|
| 1 各事業の進捗管理       | P. 1 |
| 2 【環境保護】分野の事業の評価 | P. 3 |

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
環02-03	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進
環02-04	リユース(再使用)の推進
環04-01	資源の集団回収支援
環04-02	資源回収事業
環04-03	事業系ごみ対策

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《 検討の視点 》

課題の洗い出し

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化</li> <li>○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化</li> <li>○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度<br/>(事業実績の推移)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方<br/>(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付</li> <li>・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮</li> <li>・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など</li> </ul> |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの  | 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの |
| 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの | 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの      |
| 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの        | 終了済 → 昨年度までに終了した事業          |

# 1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号	事業名		中間アウトカム				
環02-03	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進		環境保護(B)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	リサイクル清掃審議会	回	1	3		4	10
	事業費(千円)		3,343	2,602			
	行政コスト(千円)		-	-		進捗の課題	無
	所要人員		0.561	1.604			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
環02-04	リユース(再使用)の推進		環境保護(B)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	ステージ・エコ(年間申込数)	件	378	479		857	1,035
	フードドライブ(年間回収量)	kg	609	1,060		1,669	2,709
	事業費(千円)		498	447			
	行政コスト(千円)		-	-		進捗の課題	無
	所要人員		0.359	0.667			
進捗の課題と改善策							

事業番号	事業名		中間アウトカム				
環04-01	資源の集団回収支援		環境保護(B)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	集団回収団体新規登録	団体	14	9		23	45
	事業費(千円)		29,443	28,638			
	行政コスト(千円)		15,249			進捗の課題	有
	所要人員		1.091	1.110			
進捗の課題と改善策		新規登録団体数及び回収量ともに前年度を下回る結果となりました。引き続き、集団回収の制度やメリット等について、各種広報媒体等を活用して啓発していきます。					

事業番号	事業名		中間アウトカム				
環04-02	資源回収事業		環境保護(B)				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	集積所回収・拠点回収を通じた回収	kg	8,719,258	8,453,587		17,172,845	27,036,000
	事業費(千円)		330,806	331,595			
	行政コスト(千円)		-	-		進捗の課題	有
	所要人員		24.003	23.613			
進捗の課題と改善策		拠点における回収量は前年度を上回りましたが、集積所における回収量については前年度を下回る結果となりました。引き続き、ごみの資源化について、イベントや各種広報媒体を活用して啓発していきます。					

事業番号		事業名		中間アウトカム	
環04-03	事業系ごみ対策			環境保護(B)	
		H29	H30	H31	
主な取組		事業用大規模・中規模の所有者に対しごみ減量や適正処理・リサイクル推進の指導を行いました。	事業用大規模・中規模の所有者に対し、講習会や立入検査を通じて、ごみ減量や適正排出の指導を行いました。		
事業費(千円)		52	26		
行政コスト(千円)		12,087			
所要人員		1.817	1.848		
進捗の課題	有	進捗の課題と改善策	事業系ごみの排出量に大きな変化が見られないことから、廃棄物管理責任者講習会や立入検査を通じて事業系ごみの適正排出の徹底を図っていきます。		

## 2 【環境保護】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【資源環境部 リサイクル清掃課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画	
中項目	<b>4-2 環境保護</b>
将来像	<b>環境にやさしい取組を推進するまち</b>

中間アウトカム (B)		各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環02-03	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進	リサイクル清掃課	3Rの推進、ごみ量の抑制などに関する理解が深まり、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		3Rの推進については、文京ecoカレッジ等を通じて普及・啓発活動を行っていますが、区内リサイクル率は横ばい状態が続いています。また、ごみの排出量については減少傾向にありますが、現行の一般廃棄物処理基本計画(モノ・プラン文京)で設定した目標値には達していない状況です。次期、一般廃棄物処理基本計画改定において、新たな基本方針や具体的施策を盛り込むことにより、これらの課題解決を目指します。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		32年度の基本計画改定に向け、30年度末に第7期リサイクル清掃審議会議を立ち上げ諮問を行いました。また令和元年6月より改定作業の基礎資料とすべく排出物に関する区内調査を実施しました。なお、前回改定時よりも資料内容を充実すべく、サンプル数を増やし調査内容を精査して行いました。		
	課題及び今後の方向性の内容		基本計画改定に当たっては、様々な現状の課題を把握し、これらを解決すべく新たな基本方針や具体的施策について検討していきます。		
環02-04	リユース(再利用)の推進	リサイクル清掃課	リユースに関する理解が深まり、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		排出されるごみの中には、資源として再利用できるものや、未利用食品などが数多く見受けられます。現在、各種事業の中で、リユースに関する理解が深まるよう工夫を凝らして啓発活動を行っていますが、引き続き、より具体的なリユースの方法を周知していきます。また、未利用食品については、新たな回収方法等を検討していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		「2R優先」に関連した2種類の講演会(テーマ:食品ロス削減、プラスチックごみ問題)を実施し、各々著名な講師を確保できたこともあり、多くの方々にご参加いただきました。また、未利用食品の回収については、区の窓口やイベント時に食品を持参できない方を対象に、着払いで区へ郵送できる「フードドライブ自宅訪問受取サービス」事業を新たに開始しました。さらに、初の試みとして、ステージエコで回収した陶磁器や子ども用品交換会で集まった衣類の一部を無料で頒布する事業を行ったところ、大変盛況であったため、今後も継続してまいります。		
	課題及び今後の方向性の内容		新たな取組である「フードドライブ自宅訪問受取サービス」事業をさらに区民に活用してもらうため、効果的な周知の仕方を検討してまいります。		
環04-01	資源の集団回収支援	リサイクル清掃課	資源の集団回収が活発に行われ、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		地域の方々グループをつくって資源の集団回収事業をおこなっており、資源の36%を占めています。区民の方々に集団回収の始め方やメリット等を記載したチラシを配布していますが、新規登録グループは少ないのが現状です。さらに、既存グループにおいても、その活動が低下している場合があります。活発な活動を続けていただくためにも、グループ役員や町会関係者等と連携を取りながら、有効な支援方法を検討していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		ごみダイエット通信での啓発をはじめ、資源の有効活用とごみ減量に多くの実績を挙げた実践団体に対し感謝状を贈呈するとともに清掃工場等の見学会を行いリサイクルに対する意識啓発を行いました。集団回収による回収量は前年度比92.1%となりました。		
	課題及び今後の方向性の内容		新規登録団体数及び回収量ともに前年度を下回る結果となりました。集団回収の制度やメリット等について、機会を捉えて積極的に啓発を行っていく事で、新規の登録グループを増やしていきます。		
環04-02	資源回収事業	リサイクル清掃課(文京清掃事業所)	資源が有効利用され、ごみが減量している	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容		缶、びん、食品トレー、衣類及びインクカートリッジ等については、従来からの周知啓発の成果もあり、資源回収事業が根付いています。ただし、段ボールについては、宅配便の活用が増えて増加傾向にあり、資源としての周知がさらに必要です。今後も、引き続き資源回収の周知を徹底していきます。		
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況		ホームページや紙媒体、イベント等を通じて周知啓発を行うとともに、勤労福祉会館内に乾電池の回収拠点を新たに設けました。衣類及び食品トレーの回収量が前年度と比較し伸びている一方、プラスチックボトルについては、前年度比89.4%と前年度を下回りました。		
	課題及び今後の方向性の内容		資源回収事業に対する意識は一定程度根付いているものの、意識が行動へと繋がるよう、イベント等を通じて資源循環型社会の実現に向けた啓発を実施していきます。		

事業 番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環04-03	事業系ごみ対策	リサイクル清掃課	事業系ごみの減量と適正処理が促進されている	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果 の内容	事業用延べ床面積が1,000㎡を超える建築物に関して、立入検査を行い、排出者責任の意義を説明するとともに、ごみ減量リサイクル・適正処理等を指導しています。しかしながら、事業系ごみの排出量は横ばい状態にあり減量につながっていないため、今後は、廃棄物責任者講習会の内容の改善や対象人員の拡大等を検討していきます。			
	前回の評価を踏まえた これまでの取組状況	延べ床面積が3,000㎡を超える大規模事業所並びに1,000㎡を超える中規模事業所を対象とした「新任廃棄物管理責任者講習会」を年4回開催しました。また、事業系廃棄物の排出状況に係る立入検査を行い、廃棄物の減量及び適正処理に関する指導・啓発を実施しました。			
	課題及び今後の 方向性の内容	事業系ごみの排出量に大きな変化がないことから、排出減やリサイクル率の向上のため、廃棄物管理責任者講習会の内容を更新していくとともに、立入検査を通じて、事業系ごみの適正排出の徹底を図っていきます。			
環01-02	みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている		
環02-01	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進	環境政策課	温室効果ガス排出抑制に関する理解が深まり、排出量が抑制されている		
環02-02	文京ecoカレッジ	環境政策課 (リサイクル清掃課)	低炭素社会・循環型社会等に関する理解が深まり、区民の主体的な取組が行われている		
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる		

## 評価実施のチェックリスト

以下の各項は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

### 【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

### 【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分